

由木のびのび通信

No.165 令和元年5月15日発行 由木保育園



新緑がまぶしく、暖かい日も増えてきてお外へ出るのがとても気持ちのいい季節ですね。親子でお散歩や外遊びを楽しんでいきたいですね。

親子で見直してみよう！交通安全

なにがどのように危険なのかどのようにしたらいいのか
具体的に子ども達に教えましょう。



* 歩道を歩く

必ず歩道を歩き、歩道がないときは、道路の右側を歩きましょう。**大人は車道側を歩きましょう。**

* 交通ルールを覚える

信号や標識の意味は覚えるまで、繰り返し教えます。



* 横断歩道を歩く

道路を横断するときは、必ず横断歩道を。または歩道橋があるときは歩道橋を通るように教えましょう。

交通事故防止のための行動「もしかして とまる みる まつ たしかめる」

- ・もしかして（危険予測）起こりうる危険を予測する。
- ・とまる（一時的停止）止まれの標識では速度0にして完全に止る。
- ・みる（安全確認）右左、前後 まわりを自分の目でしっかり見る。
- ・まつ（安全確保）心、時間に余裕をもち、安全が確保されるまで人や車が通過するのを待つ。
- ・たしかめる（再確認）安全に通行できるかももう一度よく確かめる。

保育園では、安全に散歩に行けるように 約束事があります。

例えば…

- ・信号待ちはガードレールの後ろで
- ・両手がふさがらないよう、荷物はリュックに入れ持つ。
- ・後ろから車やバイクが来るときは声に出して注意を促す。
- 等

いつも安全に行動できるように歩行者であっても運転手であっても今一度、確認しましょう。